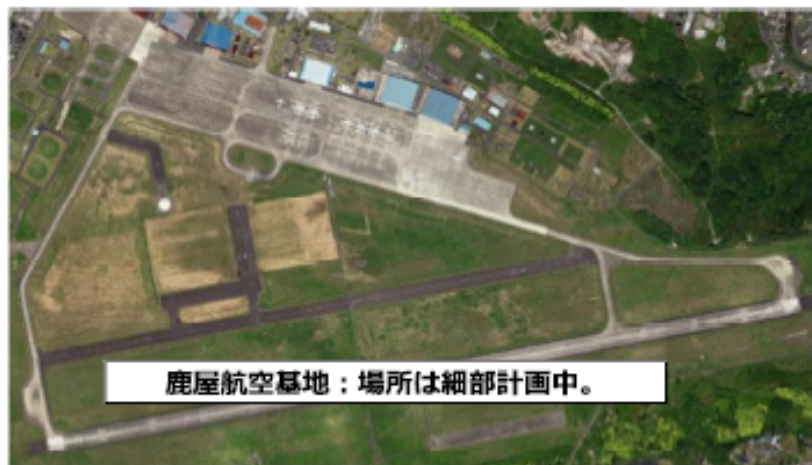


日米共同訓練の参加に伴う米陸軍のミサイルシステム タイフーン及びハイマースの鹿屋航空基地への一時展開について

令和8年5月
防衛省

- 米陸軍のミサイルシステム タイフーン及びハイマース(米太平洋陸軍第3マルチドメイン・タスクフォース)が、令和8年6月から9月の間に予定されている複数の日米共同訓練に参加するため、海上自衛隊 鹿屋航空基地に一時展開する予定です。
- いずれのアセットも、本年9月に実施される共同訓練「オリエント・シールド」が終了後、撤収のための作業を経たうえで、10月中旬を目途に鹿屋航空基地より撤収され、在日米軍基地に保管されます。
- 高い機動性を有する米軍のアセットを自衛隊施設に一時展開させ、日米間で共同訓練を積み重ねることは、米軍の機動展開能力を向上させるとともに、日米の即応性や相互運用性を向上させ、日米同盟の抑止力・対処力を一層強化させることに繋がるものと考えています。
- こうした意義に加えて、自衛隊の部隊運用と両立可能であること、アセットの航空輸送に必要な施設・設備を備えていること、一時展開できる地積を備えていること等を総合的に検討し、今般、鹿屋航空基地を使用することとしました。

展開予定場所



鹿屋航空基地：場所は細部計画中。

共同訓練の概要(現時点)

- タイフーン及びハイマースは令和8年6月22日～7月1日に実施される「ヴァリアントシールド2026」(共同対艦戦闘訓練等を実施予定)、令和8年9月「オリエント・シールド26」等に参加予定です。
- 参加する日米の部隊は、それぞれの指揮系統に従い、共同して作戦を実施する際の相互連携要領を演練します。
- その他参加予定の共同訓練の実施要領や日米の参加部隊等については、現在、日米間で調整中です。
- なお、今般の一時展開において、タイフーン及びハイマースの実射訓練は行いません。